

選考した学長の業務執行状況について

(平成29年度)

学長は、第3期中期目標の達成に向けて、リーダーシップを発揮して教職員を指揮し、法人の基本的な目標に沿って年度計画を十分に実施した。これらについては、国立大学法人評価委員会の評価結果及び国立大学法人東京学芸大学監事の意見からも十分に認められるものである。

今後は、「入学志願者数の増加」、「自己収入の拡充」、「合理化・効率化による経費配分の見直し」等の課題に引き続き取り組み、厳しい状況の中ではあるが、本学の改革を一層加速すべく、強いリーダーシップを発揮していくことが望まれる。

【業務執行状況確認資料】

- (1) 国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づく、選考した学長の業務執行状況に関する意見について（平成29年度）
- (2) 国立大学法人東京学芸大学の平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会の実績に関する評価結果）
- (3) 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書

国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づき、選考した学長の業務執行状況（平成29年度）について、上記のとおり確認をした。

平成31年3月25日

国立大学法人東京学芸大学学長選考会議